

令和6年度「学校案内」冊子への学校再編整備計画の記載について

令和6年度学校案内冊子 p14 より抜粋

学校配置の適正化について

大阪市では、全市的にさらなる少子化が見込まれる中、将来を見据え、持続的に良好な教育環境を提供していくため、子どもたちの教育環境の改善の観点を第一に据えて、行政が主体的に責任をもって解決を図る必要があると考え、学校配置の適正化の基準と進め方について、令和2年4月1日に条例や規則で規定化しました。

淀川区においては、学校適正配置対象校である西中島小学校と木川南小学校を木川小学校へ統合する学校再編の実施を最短で令和10年4月に予定しています。

学校再編整備計画について

- 西中島小学校は複式学級を有する区分の小学校であり、木川南小学校は現在児童数が120名を下回り、今後も児童数が120名を下回ることが見込まれる区分の小学校です。両校とも令和6年度以降も同様の状況が続くと見込まれています。
- 大阪市では、学級数が12～24学級を学校適正規模と規定しています。
- 両校と木川小学校の3小学校を再編することにより、適正規模を満たす見込みとなります。
- これらの状況を踏まえ、木川小学校の校地を活用し、最短で令和10年4月に木川小学校・西中島小学校・木川南小学校の再編を実施するための学校再編整備計画を令和4年12月に策定しました。

統合前年度までの期間

西中島小学校・木川南小学校はそれぞれ存続します。統合までに、西中島小学校・木川南小学校での新規入学受入れを停止することはありません。

令和10年4月1日(予定)

西中島小学校・木川南小学校は木川小学校に、校舎増築完了後に統合することを予定しています。

【淀川区のホームページで公開している、学校配置の適正化に向けた経過】

学校再編整備計画や学校適正配置検討会議、住民説明会での配布資料等を公開しています。

淀川区役所 学校配置の適正化

検索

